

大和高田市学校園施設再配置基本方針・基本計画 検討資料

大和高田市学校と地域のみらいを育むワークショップ

実施報告書

## 1. 開催概要

### (1) 目的

大和高田市にとってより良い教育環境を整備することを目的に、地域とともに存続する施設づくりの視点を踏まえ保護者や地域住民、学校関係者とともに、新しい学校園のあり方を考え、今後の小学校・中学校の再編の取組に地域の意向を反映していくためワークショップを実施します。

児童・生徒の減少により、子ども同士の学び合いや切磋琢磨をし合う場を提供することが困難な中、より良い教育環境を目指すため、本市の適正規模・適正配置、再編の基本的な考え方に基づき、3小学校・3中学校を将来の目標校数とすることを示し、「再編・統合を進めていく上での課題」や「地域での学校施設のあり方」等について中学校区ごとに話し合い、市民の意見やアイデアを募るとともに、「学校づくりの担い手」の一人として考える場とします。

### (2) 開催日時、会場

中学校区	開催日時	会場
高田中学校区	2025年12月16日（火）18:00～20:00	市役所3階庁議室
片塩中学校区	2025年12月17日（水）18:00～20:00	葛城コミュニティセンター
高田西中学校区	2025年12月22日（月）18:00～20:00	市役所3階庁議室

### (3) 参加者

参加者：地域住民等16名（高田中学校区9名、片塩中学校区4名、高田西中学校区3名）

事務局：大和高田市教育委員会事務局 教育部 学校教育課、株式会社パスコ（委託業者）

### (4) 募集方法

- 市のHP、広報誌「やまとたかだ」（11月号）へ掲載
- アンケートで事前に開催通知を希望している方へはがきで通知

### (5) 応募方法

- 大和高田市に在住、在勤、通学している人を対象にWEBフォーム（QRコード読み取りによるアクセス）及び窓口での応募
- 募集期間 令和7年11月 4日（火）～11月21日（金）  
令和7年11月 28日（金）～12月 5日（金） ※追加募集

## (6) プログラム

### ① 開会あいさつ

- ・開会
- ・資料等の確認、参加者の紹介
- ・部長あいさつ

### ② 学校園施設再配置基本方針・基本計画について

- ・大和高田市の学校園施設を取り巻く環境
- ・アンケート調査の概要
- ・教育環境あり方検討委員会（外部有識者）の報告内容の説明
- ・質疑応答

### ③ ワークショップ「大和高田市学校と地域のみらいを育むワークショップ」

#### ワーク1：新しい学校園へ向けた取組のよい点、気がかりな点（20分程度）

- ・子ども、保護者、地域等の立場から新しい学校園へ向けた取組の良いと思う点、気がかりな点を付箋に書き出してグループ内で発表していただきます。

#### ワーク2：新しい学校園へ向けた取組をより良くするためのアイデア（20分程度）

- ・ワーク1で発表して頂いた内容を踏まえ、学校園へ向けた取組をより良くするアイデアを書き出し、グループ内で発表していただきます。

### ④ 発表及び総論

- ・ワーク1及び2の結果を各グループの代表者に発表していただきます。

### ⑤ 閉会あいさつ

- ・今後の予定等
- ・部長挨拶
- ・閉会

時間	実施内容
18:00～18:05	開会あいさつ
18:05～18:30	学校園の現状、基本方針・基本計画について 質疑応答
18:30～18:35	休憩
18:35～18:53	ワークショップ（自己紹介/ワーク/発表） ワーク1：新しい学校園へ向けた取組のよい点、気がかりな点 ワーク2：新しい学校園へ向けた取組をより良くするためのアイデア
19:53～19:55	閉会あいさつ

## 2. 開催記録

### 2-1 当日の様子（会場、テーブル）

【会場（市役所庁議室）】



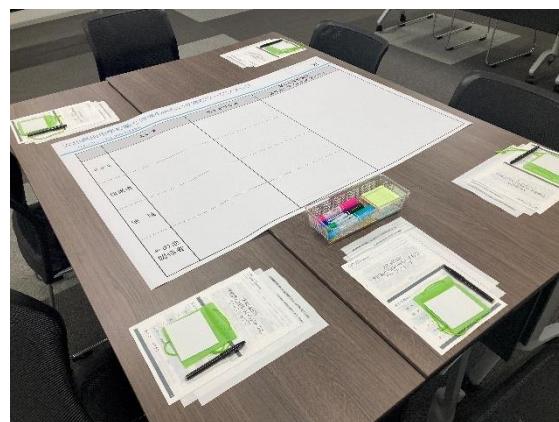
【会場（葛城コミュニティセンター）】



【配布資料】



【テーブル】



## 2-2 ワークの結果

### (1) 各班の結果

※一部文意を損なわない程度に加工しています。

ワーク1：新しい学校園へ向けた取組の良いと思う点、気がかりな点

<高田中学校区>

A班	良い点	気がかりな点
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保から小学校へ上がる時に校区の関係で離ればなれになった友だちと中学校で再会できる</li> <li>・違う小学校区の子たちとふれあえる</li> <li>・異学年交流ができる</li> <li>・友人が作りやすくなる</li> <li>・小学校の教科担任制</li> <li>・学習指導要領を弾力的に運用できる</li> <li>・中学ギャップが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校ギャップ</li> <li>・運動会を開催する運動場は大丈夫か？</li> <li>・集団から外れる子供が見えづらくなる</li> <li>・中学生らしい切り替えが難しい</li> <li>・小学生の登校手段</li> <li>・人間関係がくずせない</li> <li>・狭い空間の中なので自分で考えていいけない</li> <li>・人間関係がかわらない</li> </ul>
保護者子ども		<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立の小中へ進学する子どもが増加しないだろうか</li> <li>・放課後の過ごせる場所が狭くなる？(人数が増えたら)</li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動が活発になる</li> <li>・小さい年齢から共有(考え方など)できる人が作られる</li> <li>・小学生の時から中学生の姿をイメージできる</li> <li>・小学生の時から中学生のサポートが得られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童に迎えに行くのが大変</li> </ul>
地域保護者と		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの活動が広くなる。校区外の観点</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティを考えなくてよい</li> </ul>	
その他関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟関係で小中連携できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の反対意見に対するアリバイ作りのためのアンケートやワークショップ</li> <li>・市の財源状況から、計画どおりに進むのか</li> </ul>

## ワーク2：新しい学校園へ向けた取組をより良くするためのアイデア

＜高田中学校区＞

A班	より良くするためのアイデア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国での取組事例。但し、なぜ取組が必要と判断したのか、計画等のプロセス面を含めた資料として展開してほしい。結果はどうでもいいと思うので</li> <li>・教員の質向上を図る</li> <li>・義務教育にするのは大変なので、いろんなアイデアを得る</li> <li>・市が先頭に立ってコントロールした取組。定着するまでの間</li> <li>・学校選択制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある学校の取組み</li> <li>・学校と地域で連携してイベント(マルシェ、祭り、だんじり、市民運動会、マラソン大会など)を行う。コミュニティスクールとして</li> <li>・長欠、不登校生対応</li> <li>・自転車購入の補助金 or 通学バス</li> <li>・放課後に過ごせる場所を地域のコミュニティと共につくる</li> </ul>

A班ワークシート

大和高田市学校園と地域のみらいを育むワークショップ			
【ワークシート】高田中学校区			
	よい点	気がかりな点	新しい学校園をよりよくするためのアイデア
子ども	<p>PTA活動による地域活性化 地域に根ざした活動 地域に根ざした活動</p> <p>保護者会による地域活性化 地域に根ざした活動 地域に根ざした活動</p> <p>地域に根ざした活動 地域に根ざした活動 地域に根ざした活動</p>	<p>運動会を開催する場所は大丈夫か？</p> <p>私立の中学校進学率が増加しないでいる</p> <p>保護者の活動による地域活性化</p>	<p>教員の質向上を図る。</p> <p>地域連携</p> <p>門をもつて地元の活性化</p>
保護者	<p>PTA活動による地域活性化 地域に根ざした活動 地域に根ざした活動</p>	<p>保護者の活動による地域活性化</p>	<p>自転車購入の補助金 or 通学バス</p>
地域	<p>地域に根ざした活動 地域に根ざした活動</p>	<p>地域に根ざした活動 地域に根ざした活動</p>	
その他関係者	<p>地域に根ざした活動 地域に根ざした活動</p>	<p>地域に根ざした活動 地域に根ざした活動</p>	

ワーク1：新しい学校園へ向けた取組の良いと思う点、気がかりな点

＜高田中学校区＞

B班	良い点	気がかりな点
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス替えができる</li> <li>・子どもへの寄り添いが丁寧</li> <li>・多種多様な(交流)</li> <li>・適正なクラス人数での教育環境を維持できる</li> <li>・色々な先生と会える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・150周年なんだったのか？</li> <li>・通学距離の心配。夏の暑さ、大丈夫かな？</li> <li>・通学が遠くなる児童がいる(通学負担)</li> <li>・学年途中での再編の場合、子供の心のケア</li> <li>・お金ない</li> <li>・SSW(スクールソーシャルワーカー)が周知されていない</li> <li>・SC(スクールカウンセラー)の来校が少ない</li> <li>・支援級8人は難しい</li> <li>・通学距離が長距離な子が体調不良に。4kmはムリ。2km以内に</li> </ul>
保護者子ども		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学手段。とくに遠い場合</li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの行動範囲が広くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのコミュニケーション不足(時間がない)</li> <li>・児童ホームどうなる？</li> <li>・通学が遠くなる児童がいる(安全確保)(保護者負担)</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯が近所にも増えるかも？今までは小学校の配置の面からこの地域はやめておこうとなることがあった</li> <li>・小中の連携が手厚い。交流の機会がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点</li> <li>・参加したい時、どう係わる？</li> </ul>
その他関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の向上心が高い</li> <li>・先生方の人間力が高い</li> <li>・子ども達のために課題を改善しようと動いてくれる</li> <li>・教員の確保がしやすい？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の過労</li> <li>・人手が足りない</li> <li>・福祉・医療との連携不足</li> <li>・事務が苦手</li> <li>・市の財政負担</li> <li>・LD(学習障害)への知識や支援スキルが不十分</li> <li>・県の教育委員会レベルになると動きがにぶい</li> <li>・特別支援への知識、スキルの不足</li> <li>・門を遠隔操作できないため開けたまま</li> <li>・情報共有、連携が不十分</li> <li>・保護者が使える駐車場がない</li> <li>・市のHPが分かりにくい。情報が不十分</li> </ul>

## ワーク2：新しい学校園へ向けた取組をより良くするためのアイデア

＜高田中学校区＞

B班	より良くするためのアイデア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動の地域移行の活性化。いけばな教室、公民館教室など</li> <li>・スクールバスは必須。無料で</li> <li>・バス出ますか？ロータリーほしいです</li> <li>・遠隔操作できる門</li> <li>・保護者や放ディ用駐車場の確保</li> <li>・事前に先生・生徒の交流</li> <li>・いきなり、はい、再編です！今日から合同、ではなく、交流を前から行ってほしい</li> <li>・道路の整備(通学路)</li> <li>・地域からの事務員の雇用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に秘書をつける</li> <li>・残業を無くす or 残業代を出す</li> <li>・先生方のストレス軽減</li> <li>・私立園の誘致(幼保小中高)など</li> <li>・支援計画、指導計画をもっとしっかり使う</li> <li>・学校作業療法室の導入。参考:飛騨市</li> <li>・LD(学習障害)の支援強化。通常級の子ども達もフォローする。全員をとりこぼさない</li> <li>・COOP アプローチ導入</li> <li>・勉強会、研修会。教員だけでなく、保護者や地域の方も</li> </ul>

### B班ワークシート

#### 大和高田市学校園と地域のみらいを育むワークショップ

【ワークシート】高田中学校区

B班

	よい点	150枚 ながめくわら	気がかりな点	新しい学校園を よりよくするためのアイデア
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動へ できる</li> <li>・子どもへの 寄りきりが 丁寧</li> <li>・遠隔操作が できる</li> <li>・通学距離の 心配。 暑い暑い、大 丈夫かな？</li> <li>・SNSの 周知されて いた</li> <li>・SCの お掃除が できる</li> <li>・通学手段 が多め</li> <li>・子どもたち とのつながり 感覚 (時間かかり)</li> <li>・おもとやなさ</li> </ul>	150枚 ながめくわら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直学への遠くの 距離の心配。 (直学距離)</li> <li>・お金がない</li> <li>・リクルートの 地域移行の 活性化 (地域移行)</li> <li>・スクールバスは 反対 無料で</li> <li>・保護者や放用 駐車場の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直学への遠くの 距離の心配。 (直学距離)</li> <li>・お金がない</li> <li>・リクルートの 地域移行の 活性化 (地域移行)</li> <li>・スクールバスは 反対 無料で</li> <li>・保護者や放用 駐車場の確保</li> </ul>
保護者			<ul style="list-style-type: none"> <li>・直学への遠くの 距離の心配。 (直学距離)</li> <li>・おもとやなさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直学への遠くの 距離の心配。 (直学距離)</li> <li>・おもとやなさ</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたち がいる</li> <li>・地域の活性化 がいる</li> <li>・地域の活性化 がいる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・直学への遠くの 距離の心配。 (直学距離)</li> <li>・おもとやなさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直学への遠くの 距離の心配。 (直学距離)</li> <li>・おもとやなさ</li> </ul>
その他 関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の 向上心が 高い</li> <li>・先生方の 人間力が高い</li> <li>・子ども達 とのコミュニケーション がいい</li> <li>・教員の力が いい</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の 向上心 がいい</li> <li>・LD(学習障害) への理解 がいい</li> <li>・情報交換 がいい</li> <li>・門を遠くで 操作できる ため園内バス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉・医療 との連携不足</li> <li>・特別支援への 理解が不足</li> <li>・駐車場が 狭い</li> <li>・直学への 遠くの 距離の心配。 (直学距離)</li> <li>・LD(学習障害) への理解 がいい</li> <li>・COOPアプローチ 導入</li> <li>・勉強会、研修会 の導入</li> </ul>

ワーク1：新しい学校園へ向けた取組の良いと思う点、気がかりな点

＜片塩中学校区＞

C班	良い点	気がかりな点
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス替えができる</li> <li>・子どもの学びの輝き</li> <li>・中学に上がるときに友達と離れずに進める</li> <li>・友達が増える</li> <li>・人数が増える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校が遠くなる</li> <li>・通学路</li> <li>・中学校区だと遊び場所がない</li> <li>・通学路に注意が必要</li> </ul>
保護者	子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動範囲が広がる</li> <li>・自由選択？校区割り？</li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のボランティアが増える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面</li> <li>・場所で保護者も行きやすいか</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティへの期待</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい区分け、転校を考える。(良い点かつ気がかりな点)</li> </ul>
その他関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が統一されてよい</li> </ul>	

ワーク2：新しい学校園へ向けた取組をより良くするためのアイデア

＜片塩中学校区＞

C班	より良くするためのアイデア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが参加できる</li> <li>・だれもが「働きながら」できる</li> <li>・送迎用のスペース</li> <li>・バスの乗り入れ、車のUターン</li> <li>・遊べる小学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本がたくさんある小学校</li> <li>・制服が新しくなる</li> <li>・学童充実</li> <li>・幼小中含めた一体的に見られる地域の体制</li> <li>・先生の働き方</li> </ul>

C班ワークシート

大和高田市学校園と地域のみらいを育むワークショップ			
【ワークシート】片塩中学校区			
	よい点	気がかりな点	新しい学校園をよりよくするためのアイデア
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス登場</li> <li>子ども登場</li> <li>仲間の登場</li> <li>友達が増えた</li> <li>人数が増えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登校が遅くなる</li> <li>通学路</li> <li>中学校区だと通学の場所がない</li> <li>行動</li> <li>自由すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが「働きながら」できる</li> <li>送迎用バス</li> <li>バスの乗り入れ、車のUターン</li> <li>遊べる小学校</li> <li>本がたくさんある小学校</li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者のボランティアが増えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全面</li> <li>場所で保護者も行きやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制服が新しくなる</li> <li>学童充実</li> <li>幼小中含めた一体的に見られる</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きい区域で転校が増えた</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>先生の働き方</li> </ul>
その他関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生が統一されてよい</li> </ul>		

ワーク1：新しい学校園へ向けた取組の良いと思う点、気がかりな点

＜高田西中学校区＞

D班	良い点	気がかりな点
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの友達と出会える</li> <li>・新しい学校ワクワク</li> <li>・クラス替え楽しみ</li> <li>・個人の理解度に合わせてカリキュラムを組めるようになる</li> <li>・多くの友</li> <li>・いろいろな先輩、後輩</li> <li>・競い合い</li> <li>・中学受験の選択</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学時間</li> <li>・通学路の安全</li> <li>・不登校への対応</li> </ul>
保護者子ども		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が遠くなる？</li> <li>・IT設備の遅れ</li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAなど活動負担も軽減される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が多くなる不安</li> <li>・卒業生の思い、歴史</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まったく新しい校風</li> <li>・昔のしがらみ一掃</li> <li>・V字回復！！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の環境に馴染むには</li> <li>・慣れ親しんだ母校がなくなる</li> </ul>
その他関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい教育に大和高田市への移住が増えれる？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員不足の対策は</li> </ul>

## ワーク2：新しい学校園へ向けた取組をより良くするためのアイデア

＜高田西中学校区＞

D班	より良くするためのアイデア
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活で違いを出す様に</li> <li>・地域クラブ団体と連携</li> <li>・(跡地活用)企業誘致。教室単位で働く場を</li> <li>・教科毎の受講</li> <li>・新校舎、先進性</li> <li>・公民館機能</li> <li>・学校が地域に出向いていく。交流のために</li> <li>・部活動と地域のコミュニティの連携（介護）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン通学可</li> <li>・専門性の教員。数学、国語</li> <li>・安心して遊べる場所になるといい。(跡地活用)</li> <li>・新しいカリキュラム 幼稚部、小学部、中学部 時間割 1年生～6年生、～9年生？</li> <li>・地域サークルに教室の開放</li> <li>・0, 1, 2歳をゆったり温かく</li> <li>・3歳～15歳の教育施設</li> <li>・地域の教育力、仕事の喜び</li> </ul>

D班ワークシート

### 大和高田市学校園と地域のみらいを育むワークショップ

【ワークシート】高田西中学校区

D班

	よい点	気がかりな点	新しい学校園をよりよくするためのアイデア
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさんの友達と出会える</li> <li>新しい学校 ワクワク</li> <li>クラス替え 楽しい</li> <li>個人的実験室 本当にいい</li> <li>PTA活動の豊富な実績</li> <li>競い合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学時間</li> <li>通学路の安全</li> <li>不登校への対応</li> <li>学校が遠くない?</li> <li>IT設備の量</li> <li>保護者への歴史</li> <li>人数が少ないので不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>跡地で遊び場をつくる</li> <li>地域サークルに教室の開放</li> <li>教科毎の受講</li> <li>新校舎の先進性</li> <li>公民館利用</li> <li>オンライン通学可</li> <li>専門性の教員</li> <li>(跡地活用)企業誘致</li> <li>学校が地域に出向いていく</li> <li>安心して遊べる</li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの友達</li> <li>いじめのない学校</li> <li>PTA活動の豊富な実績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者への歴史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>跡地で地域の活性化に貢献する</li> <li>オンライン通学可</li> <li>専門性の教員</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>まことに新しい校風</li> <li>昔のしがらみ 一掃</li> <li>V字回復!!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活性化 同じの環境にいたい</li> <li>慣れない環境で何が起こるか?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいカリキュラム 幼稚部 小学部 中学部</li> <li>地域サークルに教室の開放</li> <li>時間割 1年生～6年生</li> <li>～9年生?</li> <li>0～2才と3才～15歳の温かく教育施設</li> <li>地域の教育力。行事の喜び。</li> </ul>
その他関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境に大変ですか?</li> <li>地域の活性化は?</li> <li>行事は?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初回・開校式 組織運営の内容は…</li> </ul>	

## (2) 結果まとめ

ワーク1：新しい学校園へ向けた取組の良いと思う点、気がかりな点

<全体とりまとめ>

	良い点(班名)	気がかりな点(班名)
子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一定規模が確保されることによる良い点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・違う小学校区の子たちとふれあえる/友人が作りやすくなる/クラス替えができる/適正なクラス人数での教育環境を維持できる/友達が増える/たくさんの友達と出会える</li> </ul> </li> <li>○小中一貫教育が実現されることによる良い点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・異学年交流ができる/学習指導要領を弾力的運用できる/中学ギャップが少ない/中学に上がるときに友達と離れずに進める</li> </ul> </li> <li>○その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学びの輝き/色々な先生と出会える/子どもへの寄り沿いが丁寧/新しい学校ワクワク/中学受験の選択</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一定規模が確保されることによる気がかりな点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会を開催する運動場は大丈夫か? /集団から外れる子供が見えづらくなる</li> </ul> </li> <li>○小中一貫教育が実現されることによる気がかりな点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校ギャップ/中学生らしい切り替えが難しい/人間関係がかわらない</li> </ul> </li> <li>○校区が広くなることによる気がかりな点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の登校手段/通学距離の心配。夏の暑さ、大丈夫かな? /登校が遠くなる/通学路に注意が必要</li> </ul> </li> <li>○その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立の小中へ進学する子どもが増加しないだろうか/学年途中での再編の場合、子供の心のケア/SSW(スクールソーシャルワーカー)が周知されていない/SC(スクールカウンセラー)の来校が少ない/IT設備の遅れ</li> </ul> </li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一定規模が確保されることによる良い点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動が活発になる/保護者のボランティアが増える/PTAなど活動負担も軽減される</li> </ul> </li> <li>○小中一貫教育が実現されることによる良い点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の時から中学生の姿をイメージできる、サポートが得られる</li> </ul> </li> <li>○校区が広くなることによる良い点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの行動範囲が広くなる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校区が広くなることによる気がかりな点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童に迎えに行くのが大変/子どもの活動が広くなる。校区外の観点/通学が遠くなる児童がいる(安全確保)(保護者負担)/行動範囲が広がる/安全面/保護者でも行きやすい場所か/学校が遠くなる?</li> </ul> </li> <li>○一定規模が確保されることによる気がかりな点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が多くなる不安</li> </ul> </li> <li>○その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのコミュニケーション不足(時間がない)/ホームどうなる? /卒業生の思い、歴史</li> </ul> </li> </ul>

<全体とりまとめ(続き)>

	良い点(班名)	気がかりな点(班名)
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校区が広くなることによる良い点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティを考えなくてよい/子育て世帯が近所にも増えるかも？今まででは小学校の配置の面からこの地域はやめておこうとなることがあった/コミュニティへの期待</li> </ul> </li> <li>○小中一貫教育が実現されることによる良い点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の連携が手厚い。交流の機会がある</li> </ul> </li> <li>○その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・まったく新しい校風/昔のしがらみ一掃。/V字回復！！</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校区が広くなることによる気がかりな点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい区分け、転校を考える(良い点かつ気がかりな点)/周辺の環境に馴染むには</li> </ul> </li> <li>○その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点/参加したい時、どう係わる？/慣れ親しんだ母校がなくなる</li> </ul> </li> </ul>
その他関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中一貫教育が実現されることによる良い点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟関係で小中連携できる/先生が統一されてよい</li> </ul> </li> <li>○その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の向上心、人間力が高い/子ども達のために課題を改善しようと動いてくれる/教員の確保がしやすい？新しい教育に大和高田市への移住が増える？</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員・学校施設関係の気がかりな点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の過労/人手が足りない/福祉・医療との連携不足/事務が苦手/LD(学習障害)への知識や支援スキルが不十分/特別支援への知識、スキルの不足/門を遠隔操作できないため開けたまま/保護者が使える駐車場がない/教員不足の対策は</li> </ul> </li> <li>○市の気がかりな点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の反対意見に対するアリバイ作りのためのアンケートやワークショップ/市の財源状況から、計画どおりに進むのか市の財政負担/県の教育委員会レベルになると動きがにぶい/市のHPが分かりにくい。情報が不十分</li> </ul> </li> </ul>

## ワーク2：新しい学校園へ向けた取組をより良くするためのアイデア

＜全体とりまとめ＞

より良くするためのアイデア	
○特別支援学級等の充実 ・COOP アプローチ導入/LD(学習障害)の支援強化。通常級の子ども達もフォローする。全員をとりこぼさない/支援計画、指導計画をもっとしっかり使う/学校作業療法室の導入。参考:飛騨市/長欠、不登校生対応	○魅力ある学校づくり ・特色ある学校の取組み/部活で違いを出す様に
○柔軟な教育環境 ・教科毎の受講/オンライン通学可/新しいカリキュラム 幼稚部、小学部、中学部 時間割 1年生～6年生、～9年生?	○地域との連携 ・学校と地域で連携してイベント(マルシェ、祭り、だんじり、市民運動会、マラソン大会など)を行う。コミュニティスクールとして/放課後に過ごせる場所を地域のコミュニティと共につくる/クラブ活動の地域移行の活性化。いけばな教室、公民館教室など/地域からの事務員の雇用/勉強会、研修会。教員だけでなく、保護者や地域の方も/誰もが参加できる/だれもが「働きながら」できる/地域クラブ団体と連携/(跡地活用)企業誘致。教室単位で働く場を/学校が地域に出向いていく。交流のために/部活で地域のコミュニティに介護に/地域サークルに教室の開放/地域の教育力、仕事の喜び
○教職員の質的向上 ・教員の質向上を図る/専門性の教員。数学、国語	○再編の取り組みの進め方 ・全国での取組事例。但し、なぜ取組が必要と判断したのか、計画等のプロセス面を含めた資料として展開してほしい/義務教育にするのは大変なので、いろんなアイデアをえる/市が先頭に立ってコントロールした取組。定着するまでの間/事前に先生・生徒の交流/いきなり、はい、再編です! 今日から合同、ではなく、交流を前から行ってほしい
○教職員の負担軽減 ・先生に秘書をつける/残業を無くす or 残業代を出す/先生方のストレス軽減/先生の働き方	○その他 ・私立園の誘致(幼保小中高)など ・制服が新しくなる ・0, 1, 2歳をゆったり温かく ・3歳～15歳の教育施設/幼小中含めた一体的に見られる地域の体制
○通学区域の見直し ・学校選択制	
○通学対策 ・自転車購入の補助金 or 通学バス/スクールバスは必須。無料で/バス出ますか? ロータリーほしいです/道路の整備(通学路)	
○学校施設の充実 ・遠隔操作できる門/保護者や放デイ用駐車場の確保 送迎用のスペース/バスの乗り入れ、車のUターン/遊べる小学校/学童充実/本がたくさんある小学校/新校舎、先進性/公民館機能/安心して遊べる場所になるといい(跡地活用)	

### 3. 参加者アンケート

2025年12月16, 17, 22日に各中学校区にて実施したワークショップに参加された方にワークショップについてのアンケートに回答いただきました。

※各設問について無回答は回答件数に含まれていません。

#### (1) 回答者属性

性別	回答件数
男	8 件
女	8 件
答えたくない	0 件

年齢	回答件数
30歳代	4 件
40歳代	7 件
50歳代	2 件
60歳代	1 件
70歳代	1 件

#### (2) 大和高田市の学校園再編の取組について

	回答件数
理解できた	6 件
ある程度、理解できた	10 件
あまり、理解できない	0 件

#### (3) ワークショップの内容について

	回答件数
わかりやすかった	15 件
わかりにくかった	0 件
どちらともいえない	0 件

#### (4) 次回以降のワークショップなどへの参加意向

	回答件数
参加したい	4 件
都合が付けば参加したい	12 件
あまり参加したくない	0 件

## (5) その他再編に関するご意見

- ・厳しい意見も出るかと思いますが、しっかりと進めてほしいと思います。費用計画等の試算情報の開示もしてほしいです。※市民として
- ・特に目的は言わずに、小・中学の子どもたちにも「どんな学校に通いたい？」とアンケートをとってみてはどうでしょうか。今日はいい機会を作っていただきました。ありがとうございました。
- ・これからも市民の意見を十分に踏まえて施策を進めて下さい。
- ・2クラス規模の義務教育学校のデメリットもかなり経験してきたので、（人間関係の固定化など）いろいろな導入校での意見を持ちよって進めていただきたいです。
- ・ワークショップ開催のための準備ありがとうございました。質問にはなりますが、各学校園から、保護者（PTA）や地域の方にこのワークショップの案内はされたのでしょうか？もう少し、地域や保護者の方の意見が聞きたかったなあという感想です。
- ・市の実行力が試されていると思います。がんばって下さい。今の状況では、3中、3小でもいいと思います。市立病院や体育館など、停滞を感じています。学校もたいへんと思いますが。
- ・色々な年代の人の意見もあれば良いかと思います。とはいって、年代が上の人からはokが出なさそうですが。
- ・子どもが未来の高田市について考えられる意見が反映できるといいですね。
- ・校区が選べる自由。
- ・高田市にスポットライトがあたり活気のある街に、それを教育の力で！と楽しく再編できることを願っています。
- ・大和高田市の目玉となる学校づくりを希望します。

#### 4. 参考資料

##### (1) 応募チラシ

## 大和高田市

## 学校と地域のみらいを育むワークショップ

令和6年度から7年度にかけて作成中の「大和高田市学校施設再配置基本方針・基本計画」等について市民の皆様に知りたいとともに、地域の小学校、中学校について、「新しい学校園のあり方」などのご意見をいただくワークショップを開催します。



### 「大和高田市学校施設再配置基本方針・基本計画」を作成しています

将来にわたり適正な規模の児童生徒数を維持し、よりよい教育環境を確保するにあたり、大和高田市の学校園の適正な規模や配置の基準等を考えるのが「大和高田市学校施設再配置基本方針・基本計画」です。

令和6年度には市民、学校園利用者等へアンケート調査を実施しました。

より多くの市民の皆様からご意見をいただくためワークショップを開催します。

[これまでの検討経過はこちらから確認できます→](#)



**対象者** : 大和高田市にお住まい もしくは お勤めの方  
(対象学区は、お住まい・お勤めの中学校区にお申し込み下さい)

推奨 16 歳以上  
※小さいお子さまをお連れの方はご相談ください

**募 集** : 中学校区ごとに 20 人(応募多数の場合抽選)

対象学区	日 時	場 所
① 高田中学校区	12月16日(火)18時~20時	市役所 3階庁議室
② 片塩中学校区	12月17日(水)18時~20時	葛城コミュニティセンター
③ 高田西中学校区	12月22日(月)18時~20時	市役所 3階庁議室 ※各回同じ内容です。

### 参加申し込み

こちらの QR コードから  
WEB ページにアクセスし必要事項  
を記入のうえお申し込みをお願いします  
申込締切: 2025 年 11 月 21 日(金)



ワークショップが  
初めての方でも!  
ぜひご参加ください!



※昨年 12 月に実施した「大和高田市学校園の再編に関するアンケート調査」にて、ワークショップの開催通知  
希望を申し込まれた方については、記載いただいた住所・氏名宛てに案内はがきをお送りします。  
※お申し込み後、参加の可否を E メールまたは郵送でお知らせします。  
※WEB でのお申込みが難しい方は、市役所教育委員会事務局教育部学校教育課にて直接参  
加申し込み用紙にご記入ください。(窓口でのお申し込みは平日17時までとなります。)  
※ワークショップ当日撮影した写真を報告書等で公表する場合があります。予めご了承ください。

**お問い合わせ** : 大和高田市教育委員会事務局教育部学校教育課

TEL : 0745-22-1101 (代表) FAX : 0745-52-8862

## (2) 広報掲載記事（広報誌やまとたかだ 2025年11月号）

### 大和高田市 学校と地域のみらいを育むワークショップ

令和6年度から7年度にかけて作成中の「大和高田市学校施設再配置基本方針・基本計画」等について市民の皆様に知っていただくとともに、地域の小学校、中学校について、「新しい学校園のあり方」などのご意見をいただくワークショップを開催します。



ワークショップが  
初めての方でもぜひ！



#### ワークショップ参加者募集



▷対象者 市内在住または在勤の人（推奨16歳以上）  
※対象学区は、お住まい、お勤めの住所の中学校区に

お申し込みください。

▷募集 中学校区ごとに20人（応募多数の場合抽選）

▷対象学区・日時・場所

対象学区	日 時	場 所
高田中学校区	12月16日(火) 18時～20時	市役所3階庁議室
片塙中学校区	12月17日(水) 18時～20時	葛城コミュニティセンター
高田西中学校区	12月22日(月) 18時～20時	市役所3階庁議室

※各回同じ内容です。

▷申込方法 下記二次元コードから必要事項を記入し  
申し込み

▷申込期限 11月21日(金)

（窓口で申し込みの場合、17時まで）

※申込後、参加の可否をメール  
または郵送でお知らせします。

※WEBでの申し込みが難しい場合は、市役所2階学校  
教育課にて申込用紙をご記入ください。

※小さいお子様をお連れの方は、ご相談ください。

※ワークショップの様子を記録するため、当日は会場  
内で写真撮影を行います。



◀ 申込はこちら



#### 「大和高田市学校施設再配置基本方針・基本計画」って？

本市では、こどもたちのため、将来にわたり適正な  
規模の児童生徒数を維持し、よりよい教育環境を確  
保していきたいと考えています。そこで、大和高田  
市の学校園の適正な規模や配置の基準などを考  
えるのが「大和高田市学校施設再配置基本方針・基本  
計画」です。

令和6年度には市民、学校園利用者などへ、小中  
学校の再編の取り組みへの意向や、学校の規模、通学  
などについてアンケート調査を実施しました。

これまでの検討経過は下記二次元コードから確認で  
きます。



アンケート結果などはこちら▶

学校教育課(内線2942)

### (3) 投影資料

2025年12月22日  
主催：大和高田市学校教育課

## 大和高田市 学校園と地域のみらいを育む ワークショップ

### 本日の進め方

18:00～	開会挨拶
18:05～	大和高田市学校園施設再配置基本方針・ 基本計画（案）について
18:30～	休憩
18:35～	ワークショップ
19:53～	閉会挨拶
20:00	終了予定

2

### 学校園の再編とは

#### 学校園の再編の目的

##### 全国的な少子化の進行



学校の小規模化  
一定規模の  
集団が不可欠

- 小規模校は「人間関係が深まりやすい」、「教員の目が届きやすい」などのメリットがある一方で…
- 学校は児童・生徒が集団の中で多様な考え方で触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていく場
- 人間関係の固定化や序列化が生じないように、各学年でクラス替えができることが望ましい
- 学習指導は、児童・生徒に多様な方法で指導したり、中学校においては専門的な教員が指導したりするため、一定の学校規模を確保し、一定の教員数で学校を運営していくことが望ましい

学校規模の適正化が必要

### 学校園の再編とは

#### 学校園の再編の目的

学校規模の  
適正化が必要

加えて  
+

効果的な施設の維持管理、整備が必要  
■学校施設の老朽化による改修、建替え  
■ICTに対応した学校施設の整備 等

→ 教育環境の質の維持・向上をめざし「学校再編」に取組みます。

3

4

### 学校園の再編とは

#### 再編と統合の違い

大和高田市の考え方

	再編	統廃合
考え方	新しい学校としてスタートします。	一方の学校を廃校にしもう一方の学校へ吸収します。
学校名等	学校名、校歌、校章等一から検討します。	統合先の学校名、校歌、校章等に統一します。
教育	それぞれの学校の特色ある教育活動を踏まえて、新たに教育課程を編成します。	統合先の教育課程を基本とします。

### 大和高田市学校園施設再配置基本方針・基本計画

#### 策定経過

令和6年12月

アンケート調査の実施  
(市民、児童、生徒、保護者、教職員)

令和6年11月 第1回  
(全6回)

大和高田市 教育委員会  
委員2名(学識経験者、自治会代表、PTA代表、校長会代表、園長会代表)

令和7年11月 報告

大和高田市立小中学校(園)のこれからの教育環境のあり方について

令和7年12月

ワークショップの実施

令和8年2月頃

パブリックコメントの実施

令和8年3月

大和高田市学校園施設再配置基本方針・基本  
計画策定予定

5

6

## 学校園を取り巻く現状と課題

### 社会の動向

- 予測困難なVUCAの時代の到来
- DXの進展・超スマート社会(Society5.0)の実現 等

- 一人一人の児童生徒が、**自分のよさや可能性を認識**とともに、**あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働**しながら様々な社会的変化を乗り越え、**豊かな人生を切り拓き**、持続可能な社会の創り手となることができるようになることが必要



※参考：中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)

## 学校園を取り巻く現状と課題

### 小中一貫教育の推進

- 平成28年4月 小中一貫教育を推進するため  
「義務教育学校」の設置が認められる

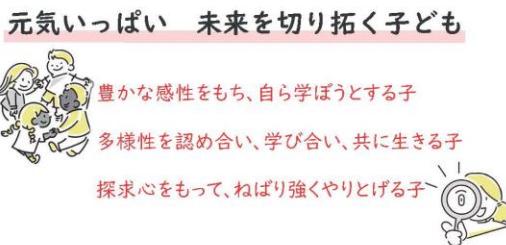


※出典：小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引(平成28年1月版)

8

## 学校園を取り巻く現状と課題

### 大和高田市がめざす子ども像(大和高田市学校教育の指導方針)



※令和7年度大和高田市学校教育の指導方針より

## 学校園を取り巻く現状と課題

### 園児数の推移



※実績値(令和5年5月1日時点)

10

## 学校園を取り巻く現状と課題

### 児童・生徒数の推移



※実績値(令和5年5月1日時点)、推計値(令和2年国勢調査結果を基準としたコホート要因法による推計値)

※実績値(令和5年5月1日時点)、推計値(令和2年国勢調査結果を基準としたコホート要因法による推計値)

## 学校園を取り巻く現状と課題

児童・生徒数の推移(片塩中学校区)

■学級数は小中学校ともに「学級あたりの人数を35人」として試算

学校	実績	推計値				
		R7	R12	R17	R22	R27
片塩小学校※	児童数	298	260	215	189	160
	学級数	11	12	9	6	6
浮乳小学校	児童数	324	257	203	183	165
	学級数	11	11	7	6	6
菅原小学校	児童数	318	239	155	144	132
	学級数	12	9	6	6	6
浮乳西小学校	児童数	268	204	167	149	136
	学級数	12	9	6	6	6
片塩中学校	生徒数	532	500	372	302	271
	学級数	14	15	13	9	9

※実績値(令和5年5月1日時点)、推計値(令和2年国勢調査結果を基準としたコホート要因法による推計値)

## 学校園を取り巻く現状と課題

児童・生徒数の推移(高田西中学校区)

■学級数は小中学校ともに「学級あたりの人数を35人」として試算

学校	実績	推計値				
		R7	R12	R17	R22	R27
磐園小学校	児童数	314	282	234	209	183
	学級数	11	12	12	8	6
陵西小学校	児童数	274	239	229	211	186
	学級数	11	12	12	8	6
高田西中学校	生徒数	304	286	242	218	196
	学級数	9	9	9	8	6

※実績値(令和5年5月1日時点)、推計値(令和2年国勢調査結果を基準としたコホート要因法による推計値)

## 学校園を取り巻く現状と課題

学校施設の配置状況



【学校園の施設位置図】



## 大和高田市における適正規模・適正配置

アンケート調査の実施

【アンケート調査の対象者(配布数/回答率)】

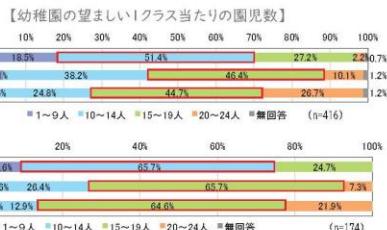
市民	18歳以上の市民2,000人(2,000票/28.4%) (無作為抽出)
生児徒	【児童】市内の小学校に通う小学5,6年生(768票/35.9%) 【生徒】市内の中学校に通う中学2年生(400票/31.3%)
他学校利用者	【保護者】市内小中学校の児童・生徒の保護者(1,531票/50.4%) 小学校:2,5,6年生/中学校:2年生
【教職員】	市内小中学校の教育職員(300票/63.0%)
幼稚園利用者等	【保護者】市立幼稚園・こども園・保育所に通っているお子さまの保護者(955票/43.6%) 【教職員等】市立幼稚園・こども園・保育所の幼稚園教諭等(255票/69.8%)

※令和6年12月実施

## 大和高田市における適正規模・適正配置

アンケート調査結果(幼稚園の望ましい1クラス当たりの園児数)

■3歳児は「10~14人」が、4,5歳児は「15~19人」が最も多くなっています。



※n:回答者数

## 大和高田市における適正規模・適正配置

幼稚園の適正規模



適正規模

■アンケート調査結果を踏まえ、望ましい園児数、学級数を年齢に合わせて設定します。

【幼稚園の望ましい1クラス当たりの園児数、学級数】

	1学級あたりの 望ましい園児数	望ましい学級数
3歳児	10人以上	1学級以上
4歳児	15人以上	1学級以上
5歳児	15人以上	1学級以上

※本市の幼稚園設置規則では3歳児は20人以下、4歳児及び5歳児は30人以下を原則として運用しています。

17

18

## 大和高田市における適正規模・適正配置

### 幼稚園の適正規模に向けた対策と実施時期の考え方

■大和高田市における適正規模に基づくと、令和7年度現在において、すべての園で基準を下回る学級がみられます。



■就学前保育・教育ニーズの多様化への対応や地域の子育て機能の向上、老朽施設の建替え促進等の観点から、市立幼稚園単独で検討するのではなく、地域間での立地のバランスを考慮し、市立保育所、市立こども園とあわせた一体的な検討を進めていきます。



## 大和高田市における適正規模・適正配置

### 国的小学校・中学校の学級編成の標準・通学距離の考え方

【国の定める学級編成の標準・通学距離の考え方】

	I学級あたりの人数	学級数	通学距離(時間)
小学校	35人	I2学級以上18学級以下 (1学年あたり2~3学級)	4km以内 (概ね1時間以内)
中学校	40人	I2学級以上18学級以下 (1学年あたり4~6学級)	6km以内 (概ね1時間以内)
義務教育学校	前期課程は小学校に 後期課程は中学校に 準ずる	I8学級以上27学級以下 (1学年あたり2~3学級)	6km以内

※学校教育施行規則、公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引:文部省(平成27年)

20

## 大和高田市における適正規模・適正配置

### 学校規模による教育環境の考え方

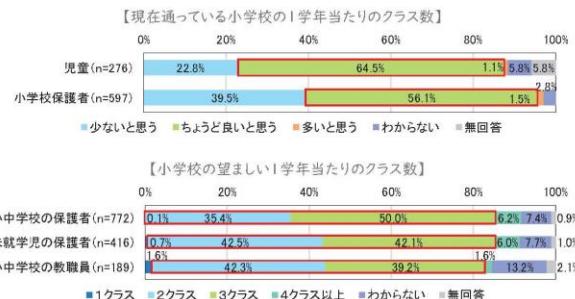
【標準規格化を進めることによって期待される効果】

- |       |  |
|-------|--|
| 学習面   | ・集団の中で <u>多様な考え方</u> に触れる機会や <u>学び合いの機会</u> 、 <u>切磋琢磨すること</u> を通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしやすくなる<br>・児童・生徒、教職員がある程度確保され、 <u>グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導</u> など、多様な学習・指導形態をとりやすくなる |
| 生活面   | ・クラス替えがしやすくなることなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成を図りやすく、 <u>人間関係の固定化を防ぎやすくなる</u><br>・学校全体での <u>組織的な指導体制</u> を組みやすくなる   |
| 学校運営面 | ・教職員数がある程度確保できるため、経験教科、特性などの面で <u>バランスの取れた教職員配置</u> を行いややすくなる<br>・学年別や教科別での教職員同士で学習指導や生徒指導等についての <u>相談・研究・協力・切磋琢磨が行いやすくなる</u><br>・校務分掌を組織的に行いややすくなる                  |

※参考:中央教育審議会の初等中等教育分科会「小・中学校の設置・運営のあり方等に関する作業部会資料」

## 大和高田市における適正規模・適正配置

### アンケート調査結果(小学校の望ましいクラス数)

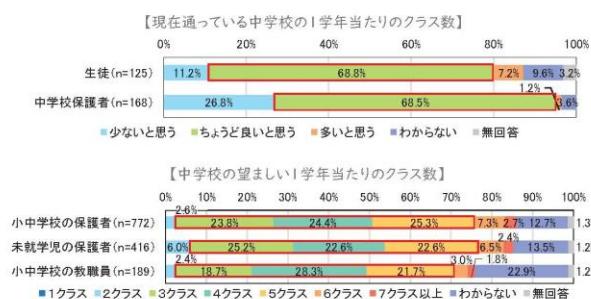


21

22

## 大和高田市における適正規模・適正配置

### アンケート調査結果(中学校の望ましいクラス数)



## 大和高田市における適正規模・適正配置

### 小学校・中学校の適正規模・適正配置



- 国の基準やアンケート調査結果を踏まえ、小学校、中学校の望ましい規模を設定します。  
■義務教育学の検討を行う場合は、国の基準に準じるものとします。

### 【小学校、中学校、義務教育学校の適正規模】

	小規模	望ましい規模
小学校	I1学級以下	I2学級以上、I8学級以下
中学校	8学級以下	9学級以上、I8学級以下
義務教育学校	—	I8学級以上、27学級以下

23

24

## 大和高田市における適正規模・適正配置

### 小学校・中学校の適正規模・適正配置

#### 適正配置

- 通学区域の見直しを行う場合は、国の基準に準ずるものとします。
- 現状の通学区域における最長距離や最長時間を大幅に超える地域が生じる際は、保護者の負担のない、実情に合わせた支援策を検討し、引き続き、犯罪や交通事故の防止など、通学路の安全確保に努めます。



25

## 小学校・中学校の再編

### 再編の基本的な考え方

- 子ども達にとってより良い教育環境の実現
- 中長期的な視点での検討
- 中学校区をコミュニティの基本単位とした検討
- 地域とともにある学校づくりの推進



26

## 小学校・中学校の再編

### 想定する再配置のシナリオ(案)

- 令和14年度(2032年度)以降の将来の目標校数を小学校3校、中学校3校とします
- 義務教育学校の新設も含めた新たな学校の設置を検討します



27

## 幼稚園・小学校・中学校の再編

### 新しい学校園をつくる上で考慮するべき視点

- 子ども達への配慮
- 教員不足への対応
- 新たな教育環境の整備
- 地域と連携した学校づくり
- 防災機能の強化
- 環境への配慮



28

## ワークショップ

### ワークショップの目的

- 今日のワークショップは…

新しい学校園に向けた取組について  
みんなのアイデアをたくさん出し合う場です

大事なことは  
・楽しむこと  
・なるほど/それいいね  
・そして手短に



## ワークショップ

### ワークショップのルール

#### ① 自由な発想で、どんどん発言する

- ・思いついたら小さなことでも恥ずかしがらずに

#### ② 違う意見を否定しない

- ・他の人の意見を最後まで聞きましょう
- ・便乗して思いついた意見も大歓迎
- ・いいね！

#### ③ 意見は短く、付せん1枚に意見は1つ

- ・そのかわり、枚数制限はありません

29

30

## ワークショップ

ワークの流れ

### ■自己紹介



ワーク1

### ■子ども、保護者、地域等の立場から、新しい学校園へ向けた取組のよい点、気がかりな点



ワーク2

### ■よりよくするためのアイデア



### ■発表!

## ワークショップ

シートの完成イメージ

大和高田市学校園と地域のみらいを育むワークショップ

ワーク①  
新しい学校園へ向けた取組の良い点、気がかりな点

ワーク②  
①を踏まえた新しい学校園をより良くするためのアイデア  
→地域で取組めるものをピックアップ

班名  
A班

	よい点	気がかりな点	新しい学校園をよりよくするためのアイデア
子ども			
保護者			
その他関係者			

31

32

## ワークショップ

自己紹介

5分

ひとり1分程度

### ■お名前 ニックネームでもOK!

### ■お住まいの小学校区

### ■学校園との関わりと 関わりのある学校園の印象



25分

ワーク①

書き出し5分、発表と意見交換20分

### ■新しい学校園へむけた取組の

- ・良い点
- ・気がかりな点

を子ども、保護者、地域の立場から  
書き出して表に貼りましょう



- ・1つの付箋にひとつ
- ・ささいなこと、率直な意見でOK!

34

## ワークショップ

20分

ワーク②

書き出し5分、発表と意見交換15分

### ■新しい学校園へむけた取組の

- ・より良くするためのアイデアを書き出す

- ・書き出したアイデアの中から

地域で取組めるものをピックアップ

- ・1つの付箋にひとつ
- ・ささいなこと、率直な意見でOK!

## ワークショップ

## 発表

グループごとに前に出て  
みんなの意見を紹介してください

35

36

#### (4) 参加者アンケート

##### 大和高田市学校と地域のみらいを育むワークショップ参加者アンケート

お名前( )※さしつかえなければお名前等をご記入ください。

性 別( 男 女 答えたくない ) 年 齢( 歳台)

1. 大和高田市の学校園再編の取組についての理解は深まりましたか。

- ① 理解できた  ② ある程度、理解できた  ③ あまり、理解できなかった

2. 本日のワークショップの内容はわかりやすかったですか。

- ① わかりやすかった  ② わかりにくかった  ③ どちらともいえない

※上記の回答理由についてワークショップの内容や進め方についてご意見があればご記入ください。

3. 本日いただいたご意見を踏まえ、学校園の再編の取組を大和高田市学校園施設再配置基本方針・基本計画として取りまとめてまいります。また、次年度以降、より具体的な検討を行う段階で、改めてワークショップなどを開催する場合、ご参加いただけますか。

- ① 参加したい  ② 都合がつけば参加したい  ③ あまり参加したくない

※①②の人は、次回以降のワークショップ開催の際に、連絡させていただくことがあります。

4. その他、学校園の再編の取組に関してご意見がございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

こちらのアンケートは回収しますので卓上に置いたままご退席ください。